

明日に架ける橋

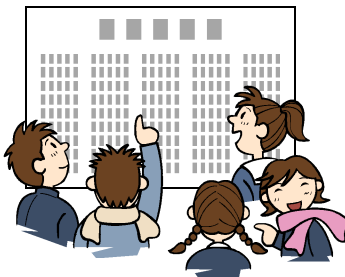
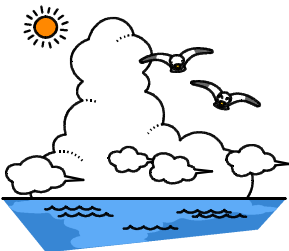
2026年度 進路だより 第4号
兵庫県立明石高等学校進路指導部
2026年7月16日発行

3年生 今後のスケジュール

明日で1学期が終了し、3年生は進路実現に向けて動きが本格化していきます。すでに知っていると思いますが、3年生の今後のスケジュールの確認をします。毎年ほぼ同じスケジュールになりますので、1・2年次生も来年以降に向けて、動きをしっかりと把握してください。詳しくは、すでに配布済みの『進路の手びき』21～23ページを参照してください。

(進学希望者)

7月15日	共通テストWEB出願マイページ作成説明
17日	推薦入試説明会(推薦入試受験希望生徒のみ)
下旬	三者面談(志望校確認)
8月上旬	総合型選抜試験開始(専門学校が主)
9月1日	推薦入試手続説明会(希望生徒のみ)
3日	指定校第一次推薦校内申し込み締め切り
7日	指定校第一次推薦校内選考会議
9日	共通テストWEB出願説明会
10日	指定校第二次推薦校内申し込み締め切り
10日	美術系国公立大学推薦校内申し込み締め切り
14日	指定校第二次推薦校内選考会議
14日	美術系国公立大学推薦校内選考会議
16日	共通テストWEB一斉出願・・・ 要注意!
18日	指定校推薦校内選考選抜者の保護者説明会(保護者・生徒とも)
24日	指定校推薦校内選考選抜者の面接説明会
24日	国公立大学推薦校内申し込み締め切り
28日	国公立大学推薦校内選考会議
10月下旬	学校推薦型選抜試験開始
11月	学校推薦型選抜公募制入試の受験日集中時期
12月中旬	三者面談(一般選拔出願校確定)
1月上旬	私立大学一般選抜入試出願
16・17日	大学入試共通テスト
18日	共通テスト自己採点
下旬	私立大学一般選抜入試開始
25日	国公立大学二次試験出願開始(～2月3日)
2月25日	国公立大学二次試験前期日程
3月1日	第79回卒業式
8日	国公立大学二次試験中期日程
上旬	私立大学一般選抜入試後期日程
12日	国公立大学二次試験後期日程



*昨年度の共通テストから、出願方式が変更になりました。従来は願書に記入をして、高校から一括しての出願でした。昨日、3年生には担任の先生から事前のマイページ作成の要領説明を行いました。それを受けて、9月9日に全体説明会を実施し、16日に一斉出願をします。それまでに各自で出願してしまうことがないように、くれぐれも注意してください。

私立大学の多くも、WEB出願が主流になりつつあります。昨年、一昨年も残念ながら、出願ミスで受験できなかったという事例がありました。せっかく勉強してきたスタートラインに立てないのは極めてもったいない話です。何事も普段から時間には余裕を持って、丁寧な行動をするよう心がけましょう。

(民間企業就職志望者)

4月	就職登録(完了)
7月1日	求人票公開
16日	就職希望者保護者会(保護者・生徒)
21日	就職学習会(～24日)
8月3日	就職校内選考会議
24日	就職学習会(～27日)
9月上旬	就職模擬面接指導
16日	民間企業就職試験開始
下旬	採用試験可否通知
10月上旬	民間企業二次募集(第一希望が不調に終わった場合)

(公務員志望者)	願書は6月までに	出願済み
8月下旬	県庁インターンシップ	
9月上旬	公務員一次試験(国家公務員・地方公務員)	
10月上旬	公務員一次試験可否発表	
中旬	公務員二次試験	
11月中旬	最終可否発表	
3月下旬	最終採用通知	

*民間企業志望者は、他の進路希望との併願はできません。
公務員希望者は、進学との併願は可能です。



1学期の振り返りをしっかり行いましょう

期末考査の振り返り、やり直しは、しっかり済ませましたか? 3年生は、少なくとも受験科目については、授業で習ったことが完璧に習得できているか、が重要です。間もなく始まる大学受験では、合格するために70%の正答率が求められます。授業で習った、しかも範囲が定められた定期考査で70%を取れない人が、入試で70%を取れると思いますか? 今の現実としっかり向き合い、夢を半年後の現実に変えましょう!

1・2年次生は、なおさらです。例えば英語CⅠの得点がとれていない人が、英語CⅡで得点できるでしょうか? 数学Ⅰができない人が、数学ⅡやⅢができるのでしょうか? 1学期に躓いて「このままではいけない」と思った人。何をすべきか、わかりますね? 自分の人生は、自分で切り開くしかありません。40日もある夏季休業というチャンスの時間を逃さないように。『進路の手びき』の合格体験記を読めば、志望校に現役合格した先輩方の多くが、塾や予備校に行かずに、授業と定期考査を大切にしてきたことがわかります。この成功体験は、誰でも真似ができます。「凡事徹底」頑張りましょう!

3年生の皆さん、赤本での志望校対策は済みましたか?

夏季休業に入りますと、3学年とも夏季補習が始まります。すでに3年生(79回生)は、早朝から夕方遅くまで、たくさんの人が図書室や教室で勉強をされていて、頼もしいです。ただ一つ気がかりなことがあります。大学別過去問題集(赤本)の貸し出し数が、今年は極端に少ないことです。昨年の3年生(78回生)も、77回生に比べてかなり少ないと報告しましたが、今年の1学期は特定の人を除いて、貸し出し数は本当に少ない数字でした。進路希望が多いのは、私立では関西学院大学、関西大学、甲南大学です。この3大学の問題傾向は、全く違います。ただそれぞれの大学としては、何年も同じ傾向の問題です。近畿大学では、推薦入試から一般選抜にかけての問題傾向が、何年にも渡って全く同じです。自分の第一志望校の赤本にできるだけ早く取りかかって、傾向を分析をして、その対策の勉強をして、合格ラインに持っていってください。

秋になって、慌てて赤本に手を付ける人がいますが、全く手遅れです。大学入試は浪人生を相手に戦いますので、その先をいくことをいち早くしなければなりません。自分で購入した人は大丈夫ですが、そうでない人でまだ志望校の赤本に着手していない3年生は、大至急、進路指導室に来てください。今なら何とか間に合います!

本気で志望校に行きたければ、本気の受験勉強をしましょう。夢の実現のために!

『夏を制する者は 受験を制する』

閑話 間もなく夏の甲子園大会が始まります。旧制明石中学野球部は1930年代に黄金時代を築き、1932年、33年と2年連続春の選抜大会準優勝という輝かしい栄光があります。33年夏の甲子園大会準決勝で、中京商業と延長25回の死闘を演じたことは皆さんもご存じかと思います。

当時の主力の楠本保投手は、6回も甲子園に出場、ノーヒットノーラン2度、という名選手でした。卒業後は慶応大学や実業団でも活躍しましたが、28歳の若さで中国戦線で戦死しました。延長25回を投げぬいた1学年下の中田武雄投手も同じく慶応に進み活躍、彼も27歳でソロモン沖で戦死しました。ちなみに、この2人の戦死した日は1日違いでした。

野球部グラウンドの1塁側ベンチ横に「楠本・中田記念樹」があるのを知っていますか? 1974年に楠本保投手の奥様の美代子さんが寄贈してくださいました。亡き夫の母校明石高校の活躍を祈っての植樹ですが、この時は戦後29年、平和で高校生が存分に野球ができる喜びの心をこめての植樹だったかと思います。

80数年前は戦争のせいで、勉強もスポーツも存分にすることができなかった。志半ばで多くの青年が命を落とした。終戦記念日の8月15日には、こういう時代があったということを考えてみてほしいと思います。(責o)



楠本・中田記念樹